

## (6) 水道事業会計の業務状況

### ア 建設事業の状況

給水区域内の安定供給を図るため、塩化ビニル管をはじめとする老朽管の布設替工事は、駒木台地先ほかで改良工事6件を実施している。さらに、つくばエクスプレス沿線整備事業4地区などで配水管拡張工事9件を実施している。

また、前年度繰越工事2件については、全ての工事が完了している。一方、東部浄水場更新事業として、平成26年度までの継続事業で東部浄水場施設改修工事及び電気機械設備更新工事を実施している。

### イ 業務の状況

当期の給水人口は166,401人で、前年同期に比べ1,743人(1.06パーセント)の増加があった。

給水量は8,425,062立方メートルで、前年同期に比べ265,548立方メートル(3.06パーセント)の減となった。

なお、1日最大給水量は、51,531立方メートルを記録し、前年同期に比べ1,399立方メートル(2.64パーセント)の減となっている。

### ウ 経理の状況

上期における総収益は、1,642,682,405円(消費税抜き)で、前年同期と比べて97,287円の増額となった。総費用は、1,374,898,354円(消費税抜き)で、前年同期に比べ11,035,589円の増額となった。その結果、総収益から総費用を差し引いた当期の損益は、267,784,051円の純利益となった。

収益の内訳は、営業収益が1,450,888,095円で前年同期に比べ15,528,095円(1.06パーセント)の減収となった。このほか、営業外収益は191,794,310円で前年同期に比べ15,625,382円(8.87パーセント)の増収となった。

次に費用の内訳では、営業費用が1,269,227,374円で前年同期に比べ18,941,307円（1.51パーセント）の増額となった。このほか、営業外費用は104,987,709円で前年同期に比べ4,207,681円（3.85パーセント）の減額となった。